

## 赤潮・貝毒プランクトンの調査について

本日、赤潮・貝毒プランクトン調査を行いましたので結果を送付いたします。

検鏡の結果、赤潮原因プランクトンであるケラチウム・フルカが最大5細胞/ml、および麻痺性貝毒原因プランクトンであるギムノディニウム・カテナータムが最大32細胞/ml確認されました。

今後、飼育魚や水色等に異常が確認された場合は、海水をペットボトル等で採集し、漁協もしくは宿毛漁業指導所にご連絡下さい。

※(本日の調査はクロロフィル量が多い水深から採水した海水1mlの検鏡を実施しています。)

採集地点 採水時間	水深	水温	塩分	溶存酸素	採水水深	コクロディニウム ポリクリコイデス	ケラチウム フルカ	ギムノディニウム カテナータム
	(m)	(℃)	(psu)	(mg/l)	(m)	(細胞/ml)		
藻津①(別図⑨) 採水時間 8:57 透明度 -	0.0	27.0	32.2	7.0	12	0	0	0
	5.0	24.9	33.7	6.5				
	10.0	24.0	34.0	6.8				
大島中央①(別図⑤) 採水時間 9:07 透明度 -	0.0	26.9	32.7	7.0	10	0	0	0
	5.0	25.0	33.8	7.1				
	10.0	23.7	34.0	6.3				
小筑紫中央①(別図⑬) 採水時間 9:17 透明度 -	0.0	26.7	32.5	6.9	10	0	0	0
	5.0	25.4	33.5	6.7				
	10.0	23.7	34.0	6.6				
栄喜奥(別図②) 採水時間 9:34 透明度 -	0.0	26.1	32.8	6.8	5	0	0	0
	5.0	25.6	33.3	7.0				
	10.0	25.0	33.6	6.6				
青瀬山(別図③) 採水時間 9:41 透明度 -	0.0	26.7	28.5	5.7	7	0	5	0
	5.0	25.6	33.4	6.9				
	10.0	25.0	33.6	6.7				
弘浦②(別図①) 採水時間 9:54 透明度 -	0.0	27.3	21.4	6.4	10	0	4	32
	5.0	24.8	33.8	6.9				
	10.0	24.3	33.9	6.6				